

令和8年度



# 園だより 9月号

杉並区立下高井戸子供園

教育目標 “しあわせいっぱいの子供園”

○もりもりそだつげんきなからだ ○たいせつななかまとじぶん ○かんじるこころとあたま

## 『いのち』を考える ―カメのコウちゃん―

園長 原 麻弓

この夏は、熊本地震や千葉県をはじめとする各地の豪雨など、自然災害により多くの方々が大きな被害を受けられました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興と、皆様の平穏な暮らしが戻りますことを心よりお祈り申し上げます。

自然災害の恐ろしさと、日ごろから備えることの大切さを学び、2学期の始まりに改めて、安全について意識を高めていきたいと思います。

さて、子供園でも夏の間に関心なことがありました。

子どもたちや職員にいつも癒しを与えてくれているカメのコウちゃん。これまでも時折、産卵をしておりましたが、先日、うまく産卵ができず出血してしまいました。

動物病院を受診し、レントゲンも撮ってもらいました。おなかの中には、上手に産めなかった卵が今も残っています。自然に吸収されるのを待つか、開腹手術をして取り除くかという決断が必要でした。主治医によると、高齢と思われるコウちゃんにとって、開腹手術は体力的に厳しく、手術が成功してもその後の回復には心配が残るとの診断でした。

そこで、職員みんなでコウちゃんの『いのち』とそこから学ぶことについて話しました。

子どもたちや私たち職員のそばにいてくれるコウちゃんだからこそ、より深く『いのち』について考える機会となりました。

職員からは、

「コウちゃんも、人も、その日、その時を生きることは当たり前ではなく、大切な時間だと思う。」

「命ある限り、毎日の声掛けやエサやりなど

一日一日を大切に関わっていきたい。」

「命はなくなると元には戻らない。悲しいけれど思い出はずっと残ることを子どもたちに知らせたい。」

「ずっと下高井戸子供園を見守ってきてくれているコウちゃんに感謝!」

などたくさんの思いが溢れました。

そしてコウちゃんの手術はしないことにしました。



コウちゃんの姿を通して『いのち』について考え、コウちゃんのためにできること、子どもたちに伝えたい大切なことを、職員一人ひとりが見つめ直した夏となりました。

今後、各学級では子どもたちの実態に応じて、コウちゃんの現状について知らせていく予定です。子どもたちには過度な心配を与えないよう、十分に配慮していきます。その中で『いのち』を感じたり、『いのち』について考えたりする機会となればうれしいです。

コウちゃんは当面、職員室で過ごすことになりました。時々テラスでのひなたぼっこや散歩を通して、甲羅干しをしたり適度に運動したりしていることがあります。見守っていただけると幸いです。

2学期も下高井戸子供園の教育・保育にご理解、ご協力をお願いいたします。

# 【9月の保育】



## 年少うさぎ組

2学期が始まりました。1学期に楽しんだことをきっかけに、2学期も一人ひとりが自分のやりたいことを見つけて伸び伸びと遊ぶことができるようにします。

9月は、はさみを使って切ることを繰り返し楽しんだり、切った紙片をたくさんつなげてできる形を面白がったりして、自分なりにつくる楽しさが感じられるようにします。

涼しい日には散歩に行ったり園庭で体を動かして遊んだりして、戸外で過ごす心地良さも感じられるようにしていきます。

生活面では、園での生活を思い出し、身の回りのことを自分でできるようにします。着替えや食事などを、自分でやってみようとする姿を支えます。

## 年長ぞう組

2学期も元気いっぱい、子供園での生活を進めていきましょう。

2学期の初めは、生活リズムを取り戻しながら1学期にした遊びやプール遊びを通して友達と一緒に遊びを進める楽しさを味わえるようにします。

プール遊びや水遊びがひと段落した後は、体を動かすいろいろな遊びに、友達と一緒に取り組み、自分の好きなことや得意なこと、友達の良さに気付けるようにします。自分の気持ちや考えを伝えたり友達の話を聞いたりし、喜びや楽しさの共有、葛藤する経験を積み重ねながら、ぞう組の中の一員と感じられるよう援助していきます。互いに応援したり認め合ったりすることで、一人ひとりの自信につながるようにします。

子どもたち一人ひとりの夏の生活の経験や成長を丁寧に読み取り、やりたいことに向かって試行錯誤したり、挑戦したりする姿を支えています。

## 年中くま組

くま組全員での生活が再スタートします。2学期の始めは、1学期にした遊びを楽しんだり、夏の間に楽しんだことを遊びの中で自分なりに再現したりしながら、子供園での生活を安心して始められるようにします。また保育時間の変更に伴い、午睡の時間も短くなります。園生活のリズムが整うように支えていきます。

9月は、暑さを考慮しながら園庭やホールで走る、投げる、跳ぶ、など体を動かすことの心地良さを感じられるようにします。

暑さが和らいだころには、散歩に出かける計画も立てています。歩くことは、体づくりの基本です。列に並んで歩くこと、公共の場や道路での約束に気を付けて、みんなでいろいろな場所へ行くことを楽しみにできるようにします。

